備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度			昭和58年度	根拠法令・例規等	水道法、備前市簡易水道事業設置条例、備前市飲料水供給施設設置条例
総合計画	大項目	基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	問合先 担当課（室）	水道課
	中項目	基本計画	05 安全に暮らせるまち	職・氏名	施設係長　杉本成彦
	小項目	施策	14 安全でおいしい水の安定供給	電話	0869-66-9794
事務事業名			05 簡易水道事業管理運営事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	市内の簡易水道及び飲料水供給施設利用者（高田、三国東部、飯掛、大股、寺山地区）
目的（何のために）	対象地区に安全でおいしい水を常に安定供給をする。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	安全安心な飲料水を効率的に供給することによりコストの削減を行う。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	簡易水道事業管理運営事業	定期的な水質検査と施設の点検による速やかな対応により安全な飲料水の安定供給を行う。	◎

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	直接事業費	千円	26,781	23,163	22,707
		必要人員 人件費		0.38人 3,564	0.33人 3,012	0.24人 2,136
		事業費計		30,345	26,175	24,843
	財源	国県支出金	千円			
		受益者負担		5,027	4,877	4,723
		繰入金				
		市債				
		その他（　　）				
		一般財源		25,318	21,298	20,120
	受益者負担比率		%	16.6%	18.6%	19.0%

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
		説明	事業費／給水人口		
	結果指標量		317	310	298
	対前年比	%	―	97.8%	96.1%
	活動コスト	円	30,345,000	26,175,000	24,924,000
	単位当たりコスト		95,726	84,435	83,638

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
事業費に対する料金収入の割合	目標値（A）	17	17	18	18
	実績値（B）	16.6	18.6	19.0	到達目標値
	達成率（B/A）	97.65%	109.41%	105.62%	20

成果指標設定の考え方・式や説明

飲料水の水質及び供給量を維持しつつ、供給コストを縮減を図る。（料金収入／総事業費）

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜　■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A B C D E　高い／やや高い／普通／やや低い／低い）：**A**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ■ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ■ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A B C D E　高い／やや高い／普通／やや低い／低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ■ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A B C D E　高い／やや高い／普通／やや低い／低い）：**B**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：前年と同様に、コスト縮減に配慮しながら、速やかな対応により安全で安心な飲料水の安定供給に努めていく。

総合評価

安全な飲料水の供給は、地域住民の生活と健康に欠かすことのできないものであり、コスト縮減に努めながら、今後も継続の必要がある。

総合評価（A B C D E　高い／やや高い／普通／やや低い／低い）：**B**

Action

平成27年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：現在の給水エリアを確保しながら、近接する施設を統合することにより管理経費の縮減に努めてゆく。